

石山・芸術の森地域学校規模適正化検討委員会では、石山・芸術の森地域4小学校の学校規模の適正化を進めるうえでの諸課題について検討しております。検討状況については、「検討委員会ニュース」として、随時保護者や地域住民の皆様にお知らせしてまいります。

石山・芸術の森地域 学校規模適正化 検討委員会ニュース

第2回検討委員会 について

9月8日（月）午後6時から、常盤小学校で第2回の検討委員会を開催し、地域の皆さんから寄せられた意見の報告や、石山・芸術の森地域で想定される学校統合パターンについての検討を行いました。

地域の皆さんから 寄せられた意見 （報告）

本年4月以降、地域の皆さんから寄せられた意見について、事務局から3件、検討委員から1件、計4件の報告がありました。

【事務局からの報告（要旨）】

- 石山小と石山南小、石山東小の3校は早急に統合すべきではないか。その際は藻岩南小や常盤小などを柔軟に選択できるようにすることや、スクールバスなどの検討も必要と考える。
(2014年5月 電子メール)
- 統合ありきでなく、教育現場と地域が一体となり、学校は地域の拠点という観点も含めて検討を深めてほしい。
(2014年6月 ファックス)
- 子どもの通学安全や地域の衰退などに対する不安があることから、統廃合には反対である。
- 通学に関しては、高学年が低学年を引率するような仕組みづくりや、通学する学校を選択できるエリアの設定なども検討すべき。
- 検討状況は幅広く周知すべき。 など
(2014年5月、6月 地区説明会)

【検討委員からの報告（要旨）】

- 子どもの教育にとって望ましいのは、もっと小さい規模の学校というのが世界の流れであり、ヨーロッパでは1学校100人程度が主流。その点では、日本の学校は大きすぎる。
- いま日本の教育に求められているのは、子ども達の成長・発達を保障するための条件整備であり、小規模校の充実などが当面の急務であることから、4校は存続すべき。
(地域から寄せられた意見の紹介)

検討事項

第2回検討委員会では、以下の前提条件に基づいて作成された統合パターン案について検討しました。

なお、前提条件は、統合パターン案を作成するために、便宜的に定めたものであり、今後の検討で変更となる可能性もあります。

◆前提条件

- ・ 石山地区、芸術の森地区それぞれに統合校を設置する。
- ・ 現在の小学校区を前提とする（校区を分割せずに現在の小学校区単位で組合せを検討する）。
- ・ 統合校が12学級以上を確保できる組合せとする。

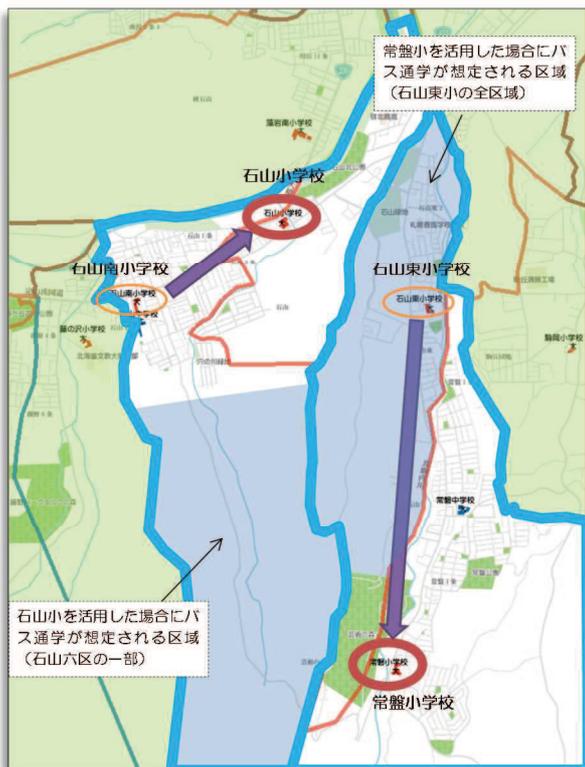
統合パターン案

◆ パターン1：現在の石山小と常盤小学校の場所に統合校を設置する場合①

	統合校の場所	統合校の校区	統合校の規模
石山地区	現・石山小	石山小 + 石山南小	12学級 (398名)
芸術の森地区	現・常盤小	常盤小 + 石山東小	13学級 (431名)

※ 学級数、児童数は平成26年度の各校児童数を基に算出（以下同じ）。

※ 学級数、児童数には特別支援学級を含まない（以下同じ）。



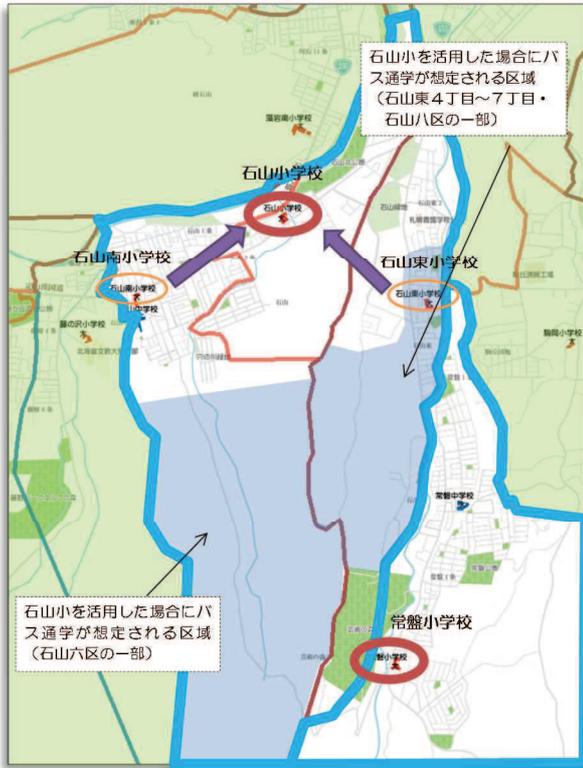
【概要】

- 小学校区と中学校区の境界が一致するため、円滑な中学校進学が期待できる。
- 小学校区と連合会の境界が一致するため、地域行事や通学見守り等が行いやすい。
- 現在の石山小校舎については大規模な増築工事等が必要となる。
- 「石山六区」、「石山東小校区の全域」で統合校までの距離が2kmを超え、新たに120名程がバス通学の対象となる。現在、常盤小でバス通学している「常盤1条、滝野、空沼」等を加えると、本パターンでは全体で160名程のバス通学が想定される。

◆ パターン1：現在の石山小と常盤小の場所に統合校を設置する場合②

	統合校の場所	統合校の校区	統合校の規模
石山地区	現・石山小	石山小 + 石山南小 + 石山東小	17学級 (514名)
芸術の森地区	現・常盤小	常盤小	13学級 (315名)

※石山小、石山南小、石山東小の統合校は、中央の石山小に設置し、常盤小は現状のままとしている。

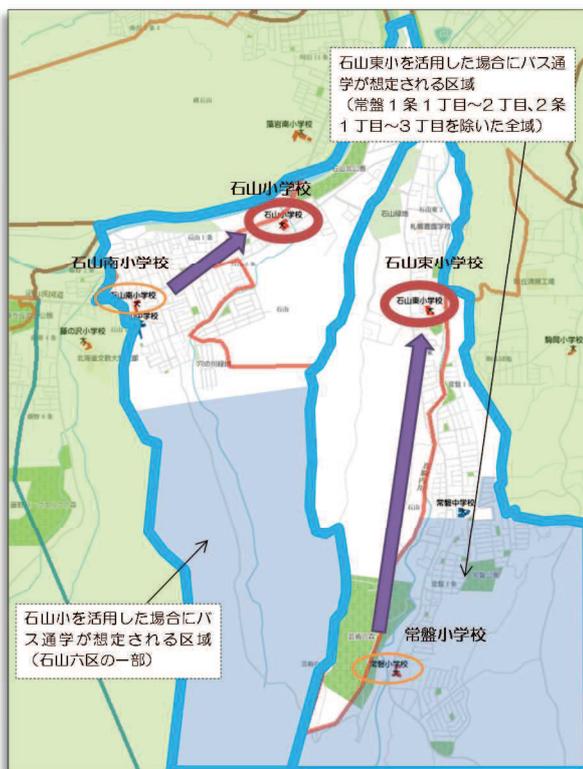


【概要】

- 小学校区と中学校区の境界が不一致となり、中学校進学時に友達との別れが発生する。
- 小学校区と連合会の境界が不一致となり、地域行事の実施や通学見守り等に懸念がある。
- 現在の石山小校舎については大規模な増築工事等が必要となる。
- 「石山六区」、「石山東小校区の一部」(石山東4～7丁目及び石山八区の一部)で、統合校までの距離が2kmを超え、新たに70名程がバス通学の対象となる。現在、常盤小でバス通学している「常盤1条、滝野、空沼」等を加えると、本パターンでは全体で110名程のバス通学が想定される。
- 国道453号から石山小への直通路線バスがなく、石山東3丁目バス停から石山小まで徒歩となるため、該当児童の負担が大きい。
- 統合校の規模がアンバランスとなり、将来的に常盤小が小規模化した際の対応が困難となる。

◆ パターン2：現在の石山小と石山東小の場所に統合校を設置する場合

	統合校の場所	統合校の校区	統合校の規模
石山地区	現・石山小	石山小 + 石山南小	12学級 (398名)
芸術の森地区	現・石山東小	常盤小 + 石山東小	13学級 (431名)

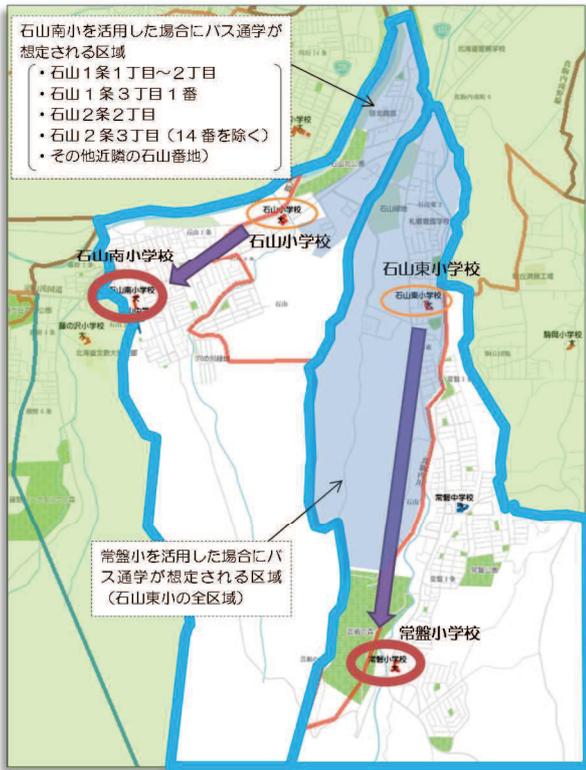


【概要】

- 小学校区と中学校区の境界が一致するため、円滑な中学校進学が期待できる。
- 小学校区と連合会の境界が一致するため、地域行事や通学見守り等が行いやすい。
- 現在の石山小校舎及び石山東小校舎は、いずれも大規模な増築工事等が必要となる。
- 現在バス通学の範囲となっている常盤1条が徒歩通学になる一方で、「石山六区」、「常盤小校区のほぼ全域」(常盤1～2条を除くほぼ全域)で、統合校までの距離が2kmを超え、本パターンでは全体で230名程のバス通学が想定される。

◆ パターン3：現在の石山南小と常盤小の場所に統合校を設置する場合

	統合校の場所	統合校の校区	統合校の規模
石山地区	現・石山南小	石山小 + 石山南小	12学級 (398名)
芸術の森地区	現・常盤小	常盤小 + 石山東小	13学級 (431名)

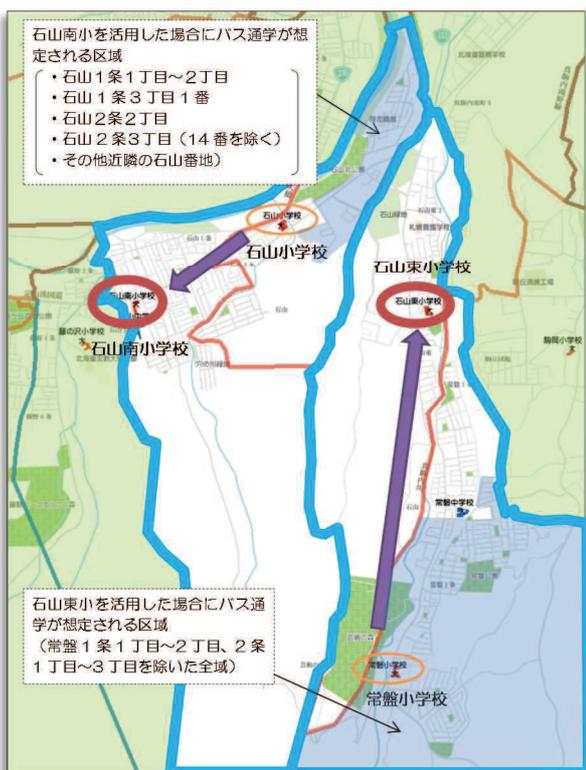


【概要】

- 小学校区と中学校区の境界が一致するため、円滑な中学校進学が期待できる。
- 小学校区と連合会の境界が一致するため、地域行事や通学見守り等が行いやすい。
- 校舎の大規模な増築等は不要となる。
- 「石山小校区の一部」(石山1～2条等)、「石山東小校区の全域」で統合校までの距離が2kmを超え、新たに240名程がバス通学の対象となる。現在、常盤小でバス通学している「常盤1条、滝野、空沼」等を加えると、本パターンでは全体で280名程のバス通学が想定される。

◆ パターン4：現在の石山南小と石山東小の場所に統合校を設置する場合

	統合校の場所	統合校の校区	統合校の規模
石山地区	現・石山南小	石山小 + 石山南小	12学級 (398名)
芸術の森地区	現・石山東小	常盤小 + 石山東小	13学級 (431名)



【概要】

- 小学校区と中学校区の境界が一致するため、円滑な中学校進学が期待できる。
- 小学校区と連合会の境界が一致するため、地域行事や通学見守り等が行いやすい。
- 現在の石山東小校舎については大規模な増築工事等が必要となる。
- 現在バス通学の対象となっている常盤1条が徒歩通学になる一方で、「石山小校区の一部」(石山1～2条等)、「常盤小校区のほぼ全域」(常盤1～2条を除く全域)で、統合校までの距離が2kmを超え、本パターンでは全体で350名程のバス通学が想定される。

統合パターン案に 関して委員から 寄せられた意見 など

- 統合校の場所は保護者や地域の人にとって非常に関心のある部分。この検討委員会の中でもしっかり議論を深める必要がある。
- 国道 453 号だが、朝の通学時間に真駒内方面へ向かう路線バスは非常に混雑している。増便も検討するのもかもしれないが、今も 5 分に 1 本程度は走っている。そのような中で 200 名以上の児童が新たにバスに乗るのは難しいのではないか。
- 小学校の校区は、できるだけ連合会の区域をまたがない方がよいのではないか。交通安全のことなども含め、子ども達が安全安心に通学するには、地域の方々の協力は非常に重要。こういう取組は連合会という地域単位で運動を進めている部分も多い。
- 石山東小と常盤小の中間に常盤中学校がある。仮に石山東小と常盤小を統合するなら、中間にある中学校の隣に小学校を新設するのが理想的ではないか。費用等での課題が大きいのはわかるが、こういった案も検討はすべきである。
- 藤の沢小の保護者から、石山中学校に進学した時に人数が少なくて疎外感を感じるという話を聞いたことがある。仮に石山小と石山南小が統合となった場合には、余計に疎外感を感じる可能性があるので、配慮が必要と思う。
- 無理に結論は急がずに、地域の子どもの為にこういった形が一番望ましいのかという観点で、しっかり検討すべき。

統合パターン（案）については、 次回の検討委員会で引き続き検討

委員から寄せられた その他の意見など

その他、第 2 回検討委員会では、委員から以下のようなご意見・ご質問がありました。

◆質問

- 今後も、地域の方から様々な個別意見が寄せられることもあると思うが、教育論など、内容によっては一委員として答えることが難しいものもある。そういった意見についてはどのように対応すべきか？検討委員会や委員の位置付けも含めて再度確認したい。

(事務局回答)

この検討委員会では、学校規模の適正化にあたり、統合校をどこにすべきか、通学は大丈夫か、校名はどうあるべきか、そういった各種課題について意見交換し、最終的には、実際に学校統合ができるかも含めてご検討いただきたいと思います。

一方で、そもそもの取組の目的や、一般的な教育論などについては、教育委員会からご説明すべき事柄と考えており、各委員の皆様にもそのようなご意見等が寄せられた場合には、必要に応じて、教育委員会までご連絡いただければと考えています。

◆意見

(学校の規模について)

- 外国では1学校100名程度が主流との意見も寄せられたが、日本とはそもそも教育環境が異なる。この地域の学校はどうあるべきか、地域の子ども達をどのように育てていくのか、という観点でしっかり議論すべきである。
- 様々な意見はあると思うが、仮に学校で100名であれば、1学年15名前後ということであり、やはり少ないのではないかと思う。
- 上の子は6年間クラス替えがなくて苦しい思いをした経験がある。一方で、下の子どもは1クラスでも楽しく暮らしている。子どもによって異なる部分はあると思うが、人間関係でつまずいて6年間苦しい思いをすることを考えると、統合した方がいいのではないかというのが個人的な思い。
- 子どもは1年生からずっと同じクラスだが、コミュニケーションの面で若干不安はある。中学校に行つて急に知らない人が入ってきたときに上手く馴染めるか。自身の経験としても、クラス替えはあった方がいいのではないかと感じている。
- 「少人数の方が成績があがる」、「先生の目が行き届いて勉強ができるようになる」。そういう考えもあるが、いくら勉強ができて、社会勉強が疎かになっては不十分。その点では、より多くの友達と学生時代を過ごすべきだと思う。
- 自分の子どもについて言うと、人数が少ないからケンカばかりしているとか、コミュニケーションで不安ということは無い。ただ、例えば運動会などの行事で、子ども達がやりがいを感じづらい部分はあるのではないかと思う。学年の子が10名位だと男女それぞれ5名位。徒競走でも毎年5人で競争することになる。そういう状況が子ども達にとって本当にいいのか、という思いはある。

(校区・通学について)

- やはり保護者が最も心配しているのは、通学の問題だと思う。
- 通学距離は延びるが、その中で子ども達自身が、どこが安全でどこが危険なのか、そういったことを学んでいくことは重要。また、通学の中で、友達や地域の人との繋がりができることも多い。安全対策はしっかりやる必要があるが、必ずしも学校が近くないとダメということではないと思う。
- 通学は皆が同時に移動すると思うので、まだ不安は少ないが、校区が広がることで放課後に友達の家に行くときなどは、やはり不安。また、今までは校区外だから行つてはダメと言っていたのに、校区が一緒になったからいい、というのも違和感はある。
- バス通学に関して、高学年なら一人で乗れると思うが、1・2年生だと親と一緒に乗らないと乗ったことが無い子も多いと思う。一般のバスに乗せることには不安があり、地域の人だけが乗るバスや、子どもだけが乗るバスなどがあればと感じている。

(地域衰退への懸念等について)

- 地域で空き家対策に取り組んでおり、空き家へは、子育て家庭を優先して入れる様にしている。このため学校の統合には反対。
- 統合による地域の衰退を懸念している。空き家の問題もある。当然その地域にも子どもはいるのだから、そういう部分へも配慮が必要。例えば、学校の跡地にまちづくりセンターを移設する、福祉関係の施設を作る、そういった跡活用などの提案も行うべき。
- 仮に2校が1校になっても、地域から学校がなくなるわけではない。統合を理由に地域から子どもがいなくなることはないのではないかと。それよりは様々な考えを持った子どもが学びあい、何かあった時には助け合う、そういう仲間を多く持てた方が子ども達にとって望ましいのではないかと。
- こちらの地域では、子どもの見守り活動なども本当にしっかりやられているが、これらは単位町内会というより、連合会という組織の中で地域をあげて考えてくれている部分が大いと思う。現在のように少子高齢化の時代では、地域というのは連合会という枠で考えていくべきではないかと。

(その他)

- 地域の人々が、これまでいかに努力して学校を作り、大切に育ててきてくれたのか、ということ強く感じている。これは4校共通だと思ふ。仮に統合しても地域との関係、それぞれの学校の歴史については、しっかり統合校へ繋げていく必要がある。
- どんな結論でも後から反対が出ることはある。ただ、それによって考えが変わるような検討では意味がない。検討委員会の中でひとつの考えをしっかりとまとめていくことが必要と思ふ。
- 検討委員になり色々な人とこの話をするが、未就学や低学年の保護者にとって、非常に関心の高い問題だと強く感じている。
- 地域の中でも、特に未就学の子どもがいる家庭では反対意見が多いと感じている。
- 駒岡小などの特認校は児童数が100名以下であり、こういった学校を先に検討すべきではないかと思ふ。

◆各校長からの意見

- 大きい方がいい、小さい方がいいというのは、なかなか単純に言えない。ただ、規模を適正化することで様々なメリットがあるというのは、そのとおりだと思ふ。
- 大小それぞれに良さや課題はある。例えば人数が少なければ友達と親密になりやすい。一方で、人数がいれば交友関係で問題が起きることもある。ただ、それをどのように乗り越え、解決していくのか。そういった人間関係を学べる点では、ある程度的人数がいる方が望ましいのではないかと。
- 学校には様々な役割があるが、最も大事な役割は子どもの教育機関ということ。学校では、子ども達に、学力はもちろん、社会性、健康や体力などを身に付けなくてはいけない。そのためにはどういった学校規模、児童数が望ましいかを考えるべき。
- 子ども達は学校で、勉強だけではなく人間関係や遊びも含めて実に様々なことを学ぶ。ただ1学年1学級で人数も少なければ、どうしても人間関係は固定化する。その中で6年間を過ごせば、互いにわかりあっているので問題が起きても小さく済むし、むしろ子ども達も問題が起きないように行動する。よく少人数だとトラブルが少ないと言われるが、本当にこのような形が良いかということそうではないと思ふ。

- 今の子は昔とは異なり、人間関係が先鋭化しやすい傾向があり、一つの偏った考えに流されてしまう場合がある。これは現場としては非常に苦しいところ。教育委員会の文言では固定化された人間関係の弊害とか、そういう言葉で書かれているが、より生の言葉で言うと学級崩壊。そういう状態でクラス替えも出来なければ、解決への道筋を描くのが非常に困難。
- 知識理解だけなら教員が一生懸命教えれば身に付くが、子どもがこれからの時代を生きていくうえでは、思考力や想像力、表現力なども非常に重要。その点では、より多くの人や考えと触れることがどうしても必要となる。こういった観点から子ども達にとってより良い方向を検討していく必要があるのではないか。
- 子どもの安全確保や地域の活性化、防災や歴史的な問題、さらには地域の方々の感情など、様々な課題があると思うが、どういう手立てを取ればそれらが少しでもクリア出来るか。あるいは、子ども達のためにどの程度までなら受け入れられるか。そういう部分を判断していくことが必要。そのうえで、我慢の限界を超える、どうしても受け入れることができない、という部分があれば、また別の方法を考えるべきと思う。
- 子ども第一に考えたい。具体的には子ども達にとって望ましい学校を作ること。ただ様々な意見があり、大きい学校がいいという人もいれば、小さい学校がいいという人もいて、それぞれ望ましい学校は違う。ただ、今の実社会は非常に複雑化してきている。様々な軋轢や不条理、矛盾や不公平もあるし、そういう中で皆が折り合いをつけながら生きていると思う。学校では、大人が介入することで、子どもが自ら問題を解決しないまま、うやむやになってしまう場面もあるが、結果として社会に出たときに、すぐ仕事を辞めてしまうなどの問題もある。そういう状況を考えれば、今の時代に求められているのは、より実社会に近い形なのではないかと感じている。
- 必須条件は地域と学校の一体性だと考えている。近年、子ども達がなぜ勉強するのかを見失っている。「勉強する意味がない」「努力してもしょうがない」と感じる子どももいる。そういうときに地域というのは非常にありがたい存在。子どもが新しい学力を身につけたときに、地域でそれを実践、検証できる。新しい力を地域という場で実感できる。このことは子どもの学力にも影響があり、学校教育の中でとても大切な部分と感じている。

第3回検討委員会 について

第3回の検討委員会は、11月11日（火）を予定しており、引き続き統合パターン案についての検討を行います。

■ ご意見・ご質問は、下記の検討委員会事務局までお寄せ下さい ■

石山・芸術の森地域 学校規模適正化検討委員会 事務局
 札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課（学校規模適正化担当）
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル
 T E L 011-211-3836 / F A X 011-211-3837
 E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

※ この検討委員会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載予定です。
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>